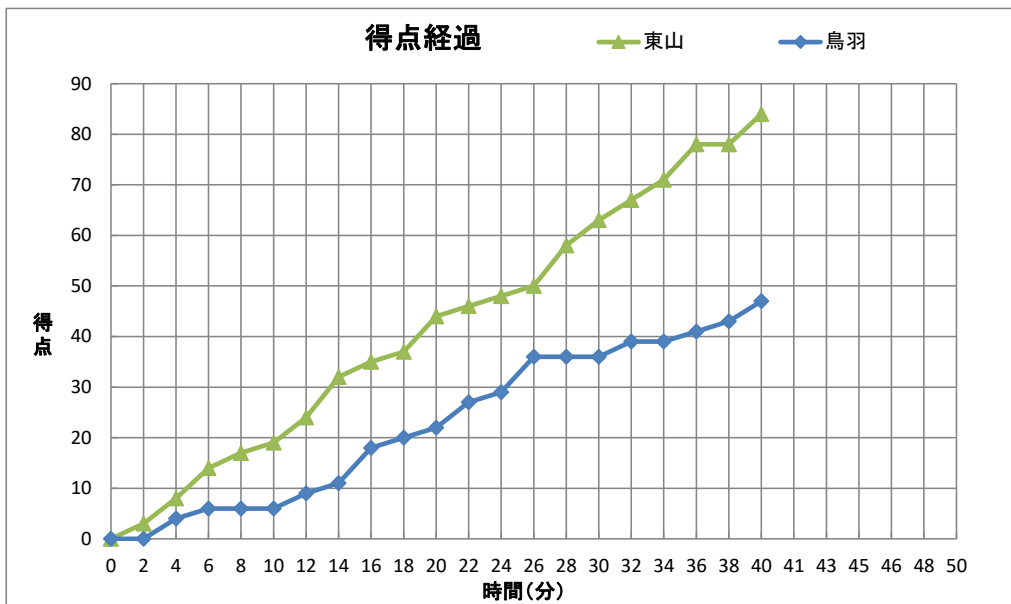




第44回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

男子		11月2日		13:50 開始																
決勝リーグ		島津アリーナ京都		Aコート																
◎	東山	84	<table border="1"> <tr> <td>19</td> <td>1st</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>2nd</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>3rd</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>4th</td> <td>11</td> </tr> </table>				19	1st	6	25	2nd	16	19	3rd	14	21	4th	11	47	鳥羽
19	1st	6																		
25	2nd	16																		
19	3rd	14																		
21	4th	11																		
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則							
4	松島 慎弥	8	0	3	2	1	* 2	坂本 立輝	10	0	5	0	3							
* 5	瀬川 琉久	19	3	4	2	3	10	中西 琉	2	0	1	0	0							
* 6	カンダ マヒカ サロモン	5	0	2	1	1	* 11	杉村 虹	0	0	0	0	0							
* 7	南川 陸斗	8	0	3	2	3	13	清次 光聖	0	0	0	0	0							
8	小野寺 星夢	13	2	2	3	0	14	田村 成	0	0	0	0	0							
9	千葉 颯太	-	-	-	-	-	* 21	鬼塚 彩叶	14	4	1	0	3							
10	大本 純弥	2	0	1	0	1	* 23	河内パー 瀬那	7	0	3	1	3							
* 11	佐藤 凪	4	0	2	0	2	24	西村 俊輔	0	0	0	0	0							
12	藪 元太郎	8	0	4	0	0	31	中谷 優太	2	0	1	0	2							
13	湯川 真央	4	0	2	0	0	32	國門 奏輝	2	0	1	0	0							
* 14	中村 颯斗	9	0	3	3	0	34	高久 凌聖	4	0	2	0	4							
15	ウエトウ フワシヤ エノック	2	0	0	2	2	36	福嶋 大翔	0	0	0	0	0							
16	横尾 理	-	-	-	-	-	* 43	上田 雄介	0	0	0	0	1							
17	新井 伸之助	2	0	1	0	0	56	岸 悠惺	0	0	0	0	1							
18	川口 律	0	0	0	0	0	89	八木 和樹	6	0	3	0	4							
コーチ	大澤 徹也					0	コーチ	福嶋 一夫					0							
Aコーチ	山崎 健太郎						Aコーチ	山下 龍之介												
合計		84	5	27	15	13	合計		47	4	17	1	21							
主審: 山下 大輔 副審: 杉山 栄規 副審: 徳本 将思																				



CTO	1・2P	3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	13:17	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	5:45	12:38	33:42	:	:	:	:	:

[戦 評] ウィンターカップ京都府予選 決勝リーグ第1戦 東山 VS 鳥羽

第1Q 両チームマンツーマンでスタート。ゲーム開始早々、東山の強いプレッシャーディフェンスから鳥羽のミス誘う。ファーストカウントは東山#7のフリースロー。対する鳥羽はハイローから#31が得点するが、すぐ東山#5の3Pで応戦。鳥羽は#2のドライブや#23のブレイクで粘るが、東山#5カウントワンを得ると14-6で鳥羽1回目のタイムアウト。鳥羽はミスマッチでのオフェンスリバウンドでファールを誘い粘るが19-6の東山リードで終了。

第2Q 東山の1-2-2ゾーンからマンツーマンに対し鳥羽のショットがなかなか決まらない。東山は#13、#4と得点し、#7の3Pが入ったところで鳥羽2回目のタイムアウト。鳥羽が2-3ゾーンにディフェンスを変えると一気に流れが変わる。鳥羽は#23オフェンスリバウンドの3点プレイをはじめ、ターンオーバーからブレイクを連発する。互いにファールが込み合う中、一進一退の攻防が続き、44-22の東山リードで前半終了。

第3Q 鳥羽は、#21、#89など得点を重ねて追い上げを見せる。対する東山はオープンショットがなかなか決まらず得点が伸びない。鳥羽#2、#89のドライブが連続で決まると東山#7#5がリングアタックから得点。互いに強いボールへの執着心から激しい攻防が続くも63-36で東山リードで終了。

第4Q 最終ピリオド、追いかける鳥羽は#21が3Pを沈める。東山は#11、#14がドライブからのアシストでゴール下で確実に得点する。互いのディフェンスがひかり、見ごたえのある攻防が続いたゲームであったが84-47で東山高校が決勝リーグ1勝目をあげた。